2017年度後期　スポーツ健康科学研究科
修士論文公聴会 タイムスケジュール

日時：2月11日（日祝）9：00～16：15
場所：インテグレーションコア1F　アカデミックラウンジ
開会の挨拶：伊坂研究科長／閉会の挨拶：長積研究科担当副学部長／司会：内田助教、佐藤（隆）特任助教
◆発表時間1人20分以内（プレゼンテーション12分、質疑応答7分、入替1分）

順番	開始	終了	氏名	修士論文題名
9:00～9:05　開会の挨拶　伊坂研究科長				
1	9:05	9:25	赤熊　亮祐	RGB-Dカメラを用いた動作解析システムの開発
2	9:25	9:45	生友　明穂	休息時間の異なる高強度間欠的運動における生理的応答の比較－連続法と分割法による比較－
3	9:45	10:05	王子田　萌	陸上競技400m走における無酸素性運動能力と有酸素性運動能力の貢献度と個人差
4	10:05	10:25	工藤　将馬	Motion analysis considering the deformation of the trunk
休憩10分				
5	10:35	10:55	近藤　知佳	中学生女子長距離選手におけるLow Energy Availability 発症状況の調査およびその予防として効果的な栄養教育内容の検討
6	10:55	11:15	下寶　賢人	新しい歩行様式「i-Walk」の生理学的・バイオメカニクス的検証
7	11:15	11:35	武中　沙葵	運動がもたらす急性の認知機能亢進と脳代謝ならびに神経体液性因子との関係性の検討
8	11:35	11:55	田中　大智	Ischemic Preconditioningが運動パフォーマンスに及ぼす一過性および短期介入効果の検討
休憩65分				
9	13:00	13:20	土金　諒	野球競技におけるバットスイングパフォーマンスと体幹筋形態の関係に関する研究
10	13:20	13:40	仲山　七虹	栄養教育が高校女子審美系選手の心理的個人特性と食行動に及ぼす影響 －痩身理想を主体とした検討－
11	13:40	14:00	西村　朋浩	運動器リハビリテーション患者のサルコペニア合併の有無が転倒リスク、ADL、健康関連QOLにおよぼす影響の検討
12	14:00	14:20	檜垣　由梨子	－過性の運動に対する感情・心理的応答－負荷様式および体力レベルの相違に着目して－
13	14:20	14:40	日比　健人	スポーツにおける傷害発生の予防に関する心理学的介入法の検討 －Andersen & Williams のストレス-スポーツ傷害モデルの検証と応用－
休憩10分				
14	14:50	15:10	堀居　直希	レジスタンス運動による筋内の性ステロイドホルモン分泌が2型糖尿病の筋量低下・高血糖改善効果に関連する機序の解明
15	15:10	15:30	間宮　葵	長時間運動後の睡眠時間の短縮が翌日に実施する運動時の生理応答に及ぼす影響
16	15:30	15:50	三宅　悠斗	ゴルフパッティングパフォーマンスを向上させるための制御方略の検討 －ボールの運動ならびにパターヘッドの運動を対象として－
17	15:50	16:10	ZHANG Dongchao	バスケットボール日本男子選手のドリブル技術の実態
16:10～16:15　閉会の挨拶　長積研究科担当副学部長				

■自由にご参加頂けますが、発表途中の入退室は避けてください。開始時刻から参加される場合は、8：55には着席ください。
■当日は、修士論文の要旨をまとめた冊子を配布します。
■公聴会終了後、16時30分より、ユニオンスクエア2階にて「第4回　立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科同窓会」を開催します。

【発表者への連絡事項】
※ 公聴会の実施方針は2017年9月26日に公表（12月26日にmanaba＋Rに再掲）したものを確認してください。
※ プレゼンテーション用パワーポイントは、USBメモリーに保存し、当日の会場に直接持参すること。
　午前の発表者は8:45～8:55、午後の発表者は昼休憩の間に会場用パソコンに保存すること。
※自身のパソコンを使用しても構わないが、発表者間のセッティング時間は設定していないので、必ず進行に支障がないようにすること。